



Open Incubation toward 2020

株式会社デジタルガレージ

2018年3月期 第3四半期決算サマリー

2018.2.9

 **Digital Garage**

2018.3期3Q累計は、売上高439億円、営業利益21億円、税引前利益58億円

～ MT / FTの高成長続き、3Q(10-12)は特にFTが業績を牽引。税引前利益進捗率 73%と順調に推移 ～

I 連結業績：前年同期比*20%増収、営業利益同3倍の大幅増益、税引前利益同横ばい

- 3Q累計売上高は過去最高を更新。MT / FTは過去最高のセグメント利益を更新
- 前期の変則決算による持分法投資利益等の特殊要因 計13億円を吸収し、税引前利益は同横ばいの58億円を維持

II MT/FT：インターネット広告/決済の好調続き、大幅増収増益

- MTは売上高前年同期比24%増の253億円、税引前利益同40%増の15億円と大幅増収増益。主力のパフォーマンスアドが牽引、市場平均を上回るペースで成長を継続
- FTは売上高前年同期比10%増の156億円、税引前利益同26%増の18億円と大幅増収増益。取扱高は1.1兆円まで拡大、EC市場を大幅に上回る成長。重点分野の非EC領域は、対面決済や仮想通貨取引所決済などの取扱高が急拡大

III IT/LTI：国内外エグジットが進捗、優良投資先の中長期インキュベーション体制を構築

- ITは税引前利益前年同期比2.3倍の17億円。国内外投資ポートフォリオを順次売却。LTIは前期の変則決算及び特別利益計上により税引前利益は前年同期比減益も、カクコム持分法投資利益は堅調に推移
- DG Labは、独自仮想通貨を発行できる決済フレームワーク「DG Lab DVEP」™を活用した戦略プロジェクトを推進。戦略的資本業務提携先であるブロックストリーム社、米国ニューヨーク証券取引所を傘下に持つインターコンチネンタル取引所(NYSE : ICE)と連携し、主要仮想通貨の取引価格情報を提供開始へ

注) * 2017.3期は決算期を変更したことにより、2017.3期通期(9ヶ月変則決算)と2018.3期3Q累計とを比較しております。

業績レビュー



売上高は前年同期比20%増の439億円と過去最高、営業利益は同3倍の21億円と大幅増益
 ～ 通期予想に対する進捗率は、売上高75%、税引前利益73%、当期純利益74%と順調に推移 ～

単位：百万円	A	B	参考 C (=B/A)	D	E	参考 F (=E/D)		2018.3期	
	2017.3期 2Q (実績) (10-12月)	2018.3期 3Q (実績) (10-12月)	前期2Q比 (比率%)	2017.3期 通期(実績) (7-3月)	2018.3期 3Q累計(実績) (4-12月)	前年同期比 (比率%) (金額)		(通期予想)	3Q累計 進捗率
売上高	12,258	15,201	+24.0	36,451	43,921	+20.5	+7,469	58,500	75%
営業利益	493	775	+57.2	723	2,192	3.0 倍	+1,468		
営業外収益	1,064	819	-23.0	3,246	2,318	-28.6	-928		
持分法投資利益	665	681	+2.4	2,528	1,914	-24.3	-614		
為替差益	274	3	-98.8	171	12	-92.6	-158		
営業外費用	13	85	6.3 倍	292	323	+10.6	+31		
為替差損	▲ 67	-	-	-	-	-	-		
経常利益	1,544	1,509	-2.3	3,678	4,187	+13.8	+509		
特別利益	20	822	41.1 倍	2,265	1,675	-26.0	-589		
投資有価証券売却益	-	-	-	1,829	717	-60.8	-1,112		
関係会社株式売却益	-	798	-	386	798	2.1 倍	+412		
税金等調整前当期純利益	1,564	2,324	+48.6	5,819	5,818	-0.0	-0	8,000	73%
法人税等	547	745	+36.1	1,525	1,740	+14.1	+215		
親会社株主に帰属する当期純利益	1,014	1,562	+54.0	4,289	4,052	-5.5	-236	5,500	74%

注) 2017.3期は決算期を変更したことにより、2017.3期通期(9ヶ月変則決算)と2018.3期3Q累計とを比較しております。
 持分法適用会社のカカコム社は2018.3期より指定国際会計基準「IFRS」を適用しており、2017.3期の数値は遡及適用後で反映しております。

◆ 2018年3月期 第3四半期連結 (累計) セグメント別P/L

持続的な収益源であるMT / FTの税引前利益は前年同期比それぞれ40%増、26%増の大幅増益
 ～ 3Q(10-12)はFTが牽引、売上高前期2Q比13%増の54億円、税引前利益同51%増の6.9億円と大幅増収増益 ～

単位：百万円	A	B	参考 C (=B/A)	D	E	参考 F (=E/D)		2018.3期	
	2017.3期 2Q (実績) (10-12月)	2018.3期 3Q (実績) (10-12月)	前期2Q比 (比率%)	2017.3期 通期(実績) (7-3月)	2018.3期 3Q累計(実績) (4-12月)	前年同期比 (比率%) (金額)		(通期予想)	3Q累計 進捗率
売上高	12,258	15,201	+24.0	36,451	43,921	+20.5	+7,469	58,500	75%
MT マーケティングテクノロジー	6,843	8,079	+18.1	20,494	25,379	+23.8	+4,884	32,000	79%
FT フィナンシャルテクノロジー	4,818	5,459	+13.3	14,140	15,619	+10.5	+1,479	20,500	76%
IT インキュベーションテクノロジー	584	1,115	+91.0	1,775	2,355	+32.6	+579	6,000	39%
LTI ロングタームインキュベーション	12	546	42.9 倍	41	567	13.8 倍	+525	-	-
税金等調整前当期純利益	1,564	2,324	+48.6	5,819	5,818	-0.0	-0	8,000	73%
MT マーケティングテクノロジー	415	403	-3.0	1,074	1,501	+39.7	+427	1,750	86%
FT フィナンシャルテクノロジー	462	699	+51.1	1,478	1,857	+25.6	+378	2,300	81%
IT インキュベーションテクノロジー	142	1,656	11.6 倍	766	1,778	2.3 倍	+1,011	3,800	47%
LTI ロングタームインキュベーション	670	588	-12.3	2,899	1,835	-36.7	-1,063	2,500	73%

注) 2017.3期は決算期を変更したことにより、2017.3期通期(9ヶ月変則決算)と2018.3期3Q累計とを比較しております。
 セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前の数値となります。

2018.3期より、中長期かつ継続的な事業利益の創出に取り組むことを目的として、従来のセグメントのうち、MIセグメントをLTIセグメントに変更しております。
 従来ITセグメントに含まれていた一部の事業等をLTIに移管しており、2017.3期の数値は変更後の区分により表示しております。

(単位：百万円)	2017.3期末	2018.3 3Q末	前期末比（金額）	主たる変動要因/備考
流動資産	59,624	84,448	+24,823	
現預金	23,029	31,151	+8,121	投資有価証券売却による収入、新規借入等
未収入金	15,422	24,456	+9,033	FT事業の拡大
金銭の信託	2,264	8,537	+6,272	FT事業の拡大
営業投資有価証券	11,856	12,922	+1,065	新規投資、時価評価等
固定資産	32,061	33,721	+1,660	
投資有価証券	18,357	16,661	-1,696	投資有価証券売却、DG Life Design社の連結子会社化に伴うのれんへの振替、新規投資、持分法投資利益取込
のれん	5,411	7,989	+2,577	DG Life Design社の連結子会社化
資産合計	91,686	118,170	+26,483	
流動負債	38,815	58,211	+19,395	
預り金	25,127	45,931	+20,803	FT事業の拡大
短期借入金	6,937	5,065	-1,872	
固定負債	18,499	21,200	+2,700	
長期借入金	17,207	19,819	+2,611	← 長期固定金利ヘシフト
負債合計	57,315	79,411	+22,096	
純資産	34,371	38,759	+4,387	
株主資本	31,633	34,990	+3,356	
資本金	7,437	7,445	+7	
資本剰余金	2,946	3,158	+211	
利益剰余金	21,300	24,413	+3,112	当期純利益の取り込み
その他の包括利益累計額	1,956	2,575	+619	
有価証券評価差額金	644	1,255	+611	
負債・純資産合計	91,686	118,170	+26,483	

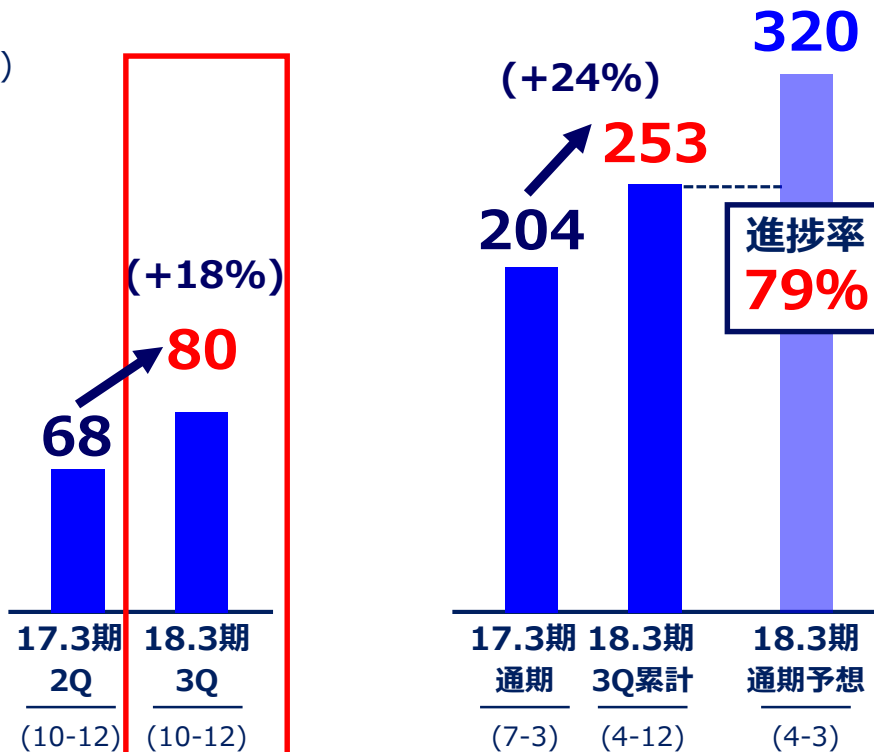
事業セグメント別レビュー



3Q売上高は前期2Q比18%増の80億円。パフォーマンスアドが牽引
～ 売上高進捗率79%、税引前利益進捗率86%と好調に推移 ～

売上高

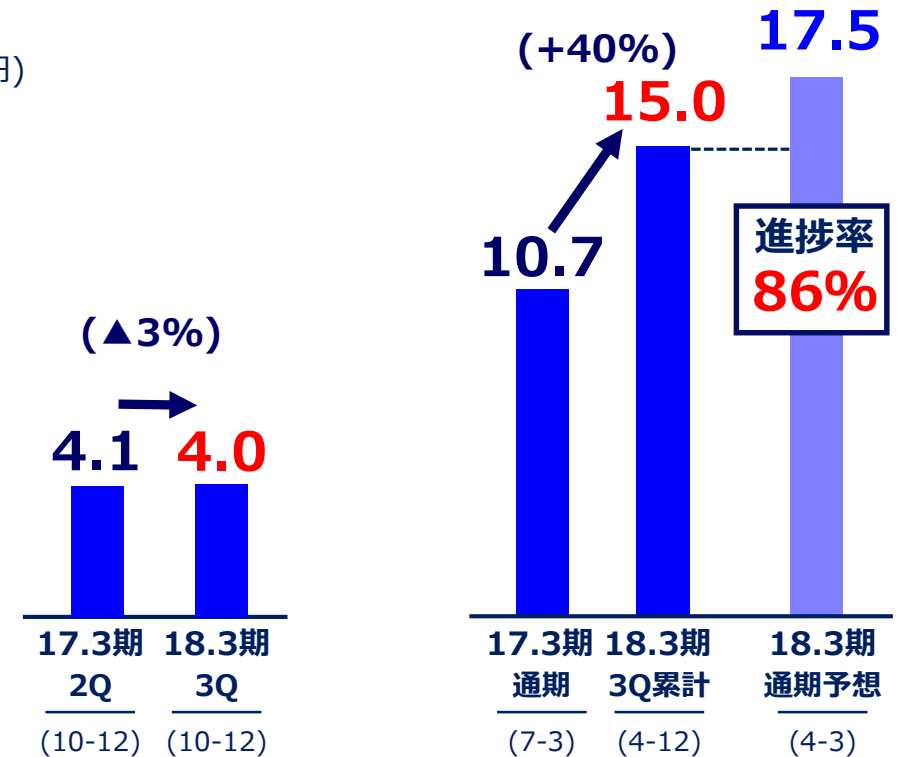
(億円)



前期2Q比18%増収、パフォーマンスアドが牽引
 今期2Q特殊要因あるも、通期進捗率 79%と順調

税引前利益

(億円)

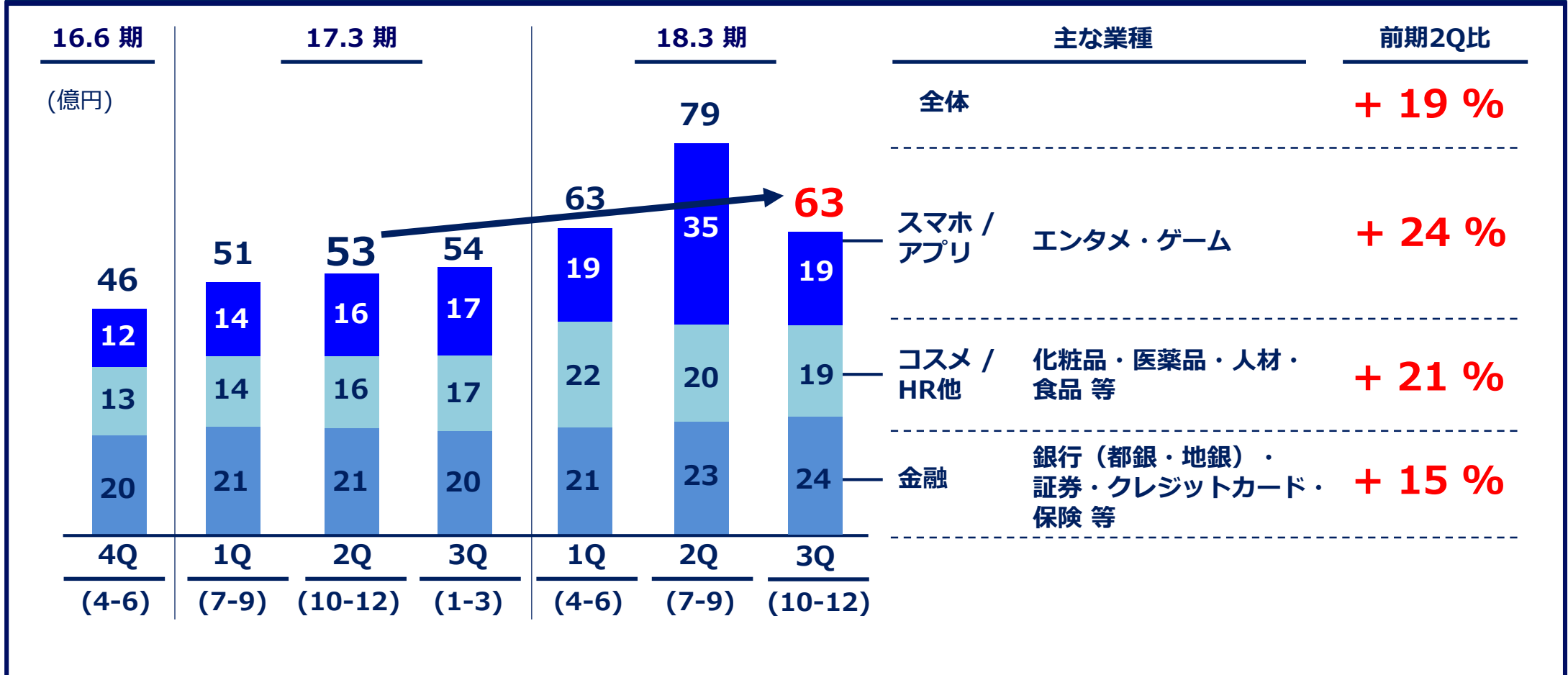


粗利は順調に拡大も、先行投資(アドテク領域・グローバル展開等)による販管費増で税引前利益は微減
 通期進捗率は86%と好調に推移

3Qパフォーマンスアド売上高は前期2Q比19%増の63億円、全業種増収

～ スマートフォン / アプリ 同24%増収、コスメ / HR 同 21%増収、金融 同15%増収 ～

業種別売上高 (パフォーマンスアド)

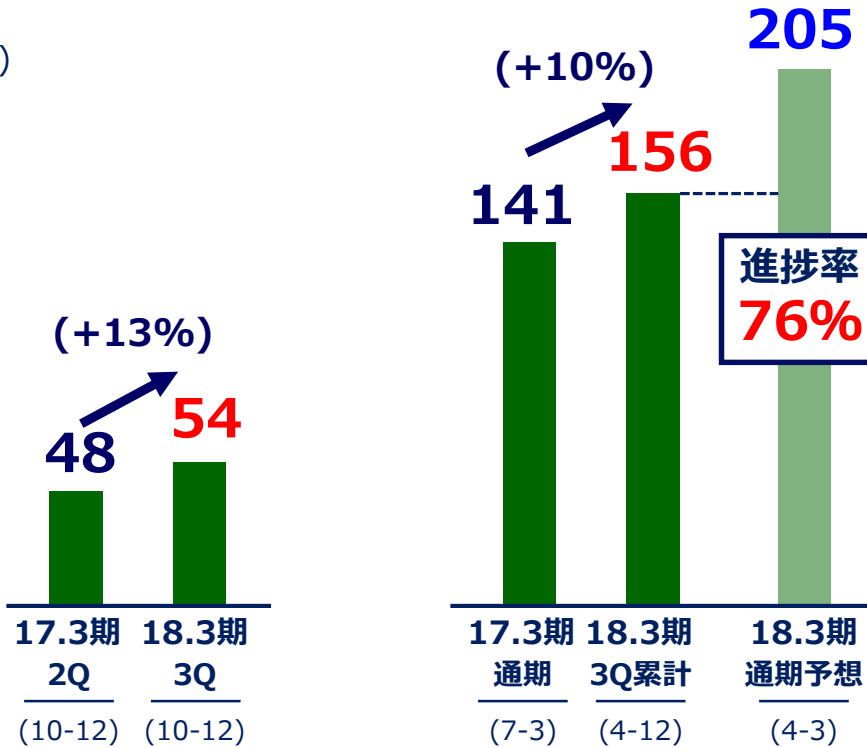


3Q売上高は前期2Q比18%増の54億円、税引前利益は同51%増の6.9億円と大幅増収増益

～ 売上高進捗率76%、税引前利益進捗率81%と順調に推移 ～

売上高

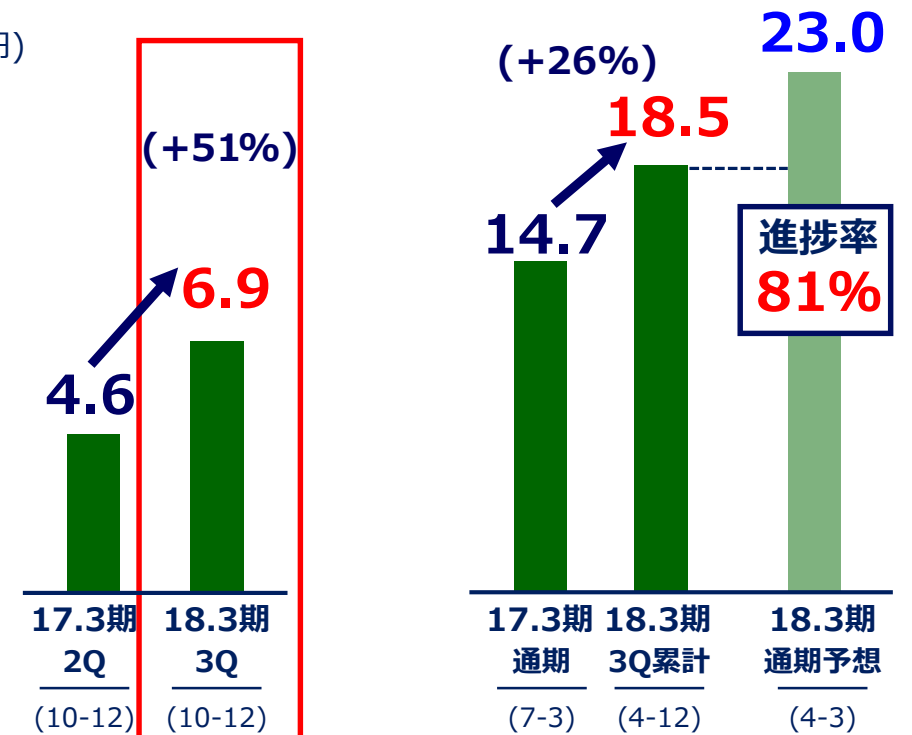
(億円)



既存クライアントの伸長、海外大手EC事業者の獲得及びモバイル決済など非EC領域の取扱高拡大が寄与

税引前利益

(億円)

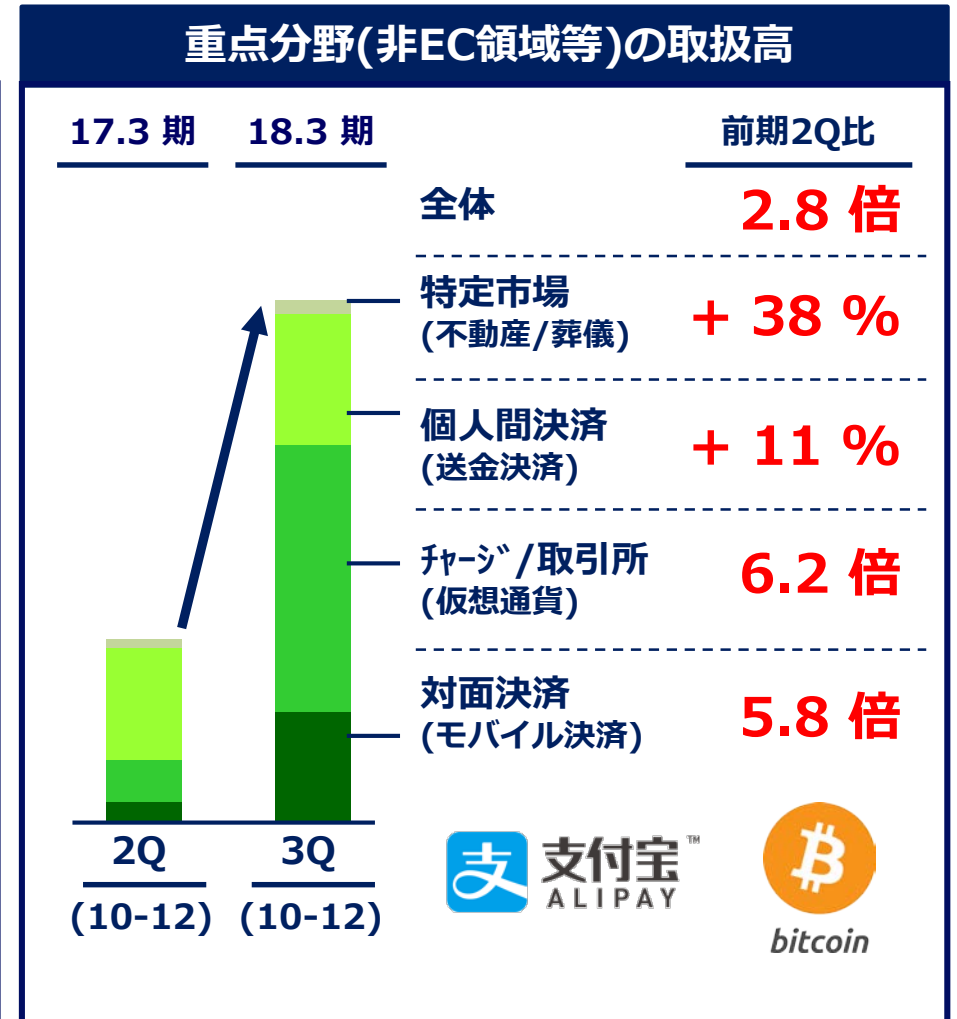
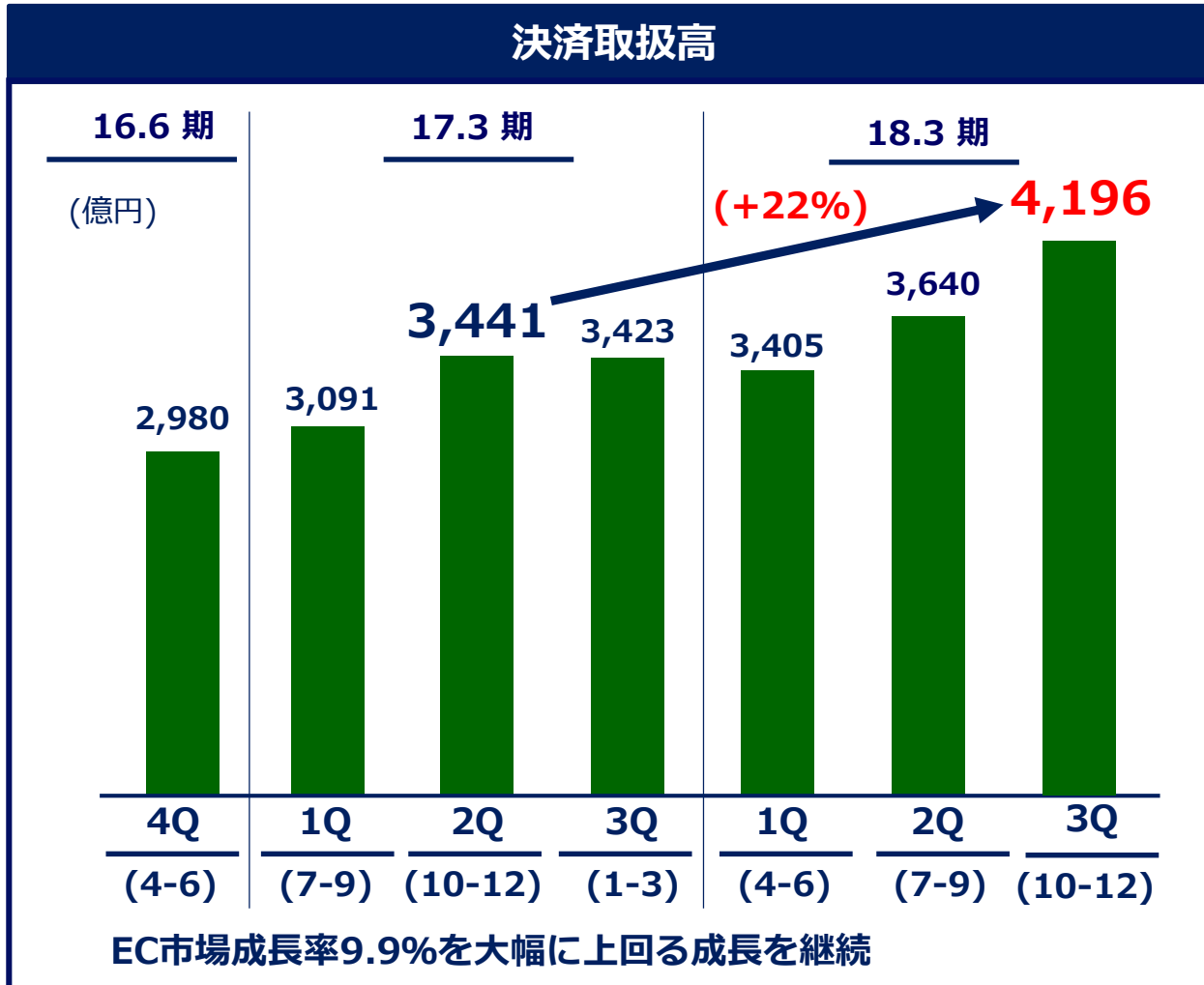


取扱高増加で限界利益が拡大、税引前利益は前期2Q比51%の大幅増、過去最高益更新

通期進捗率は81%と順調に推移

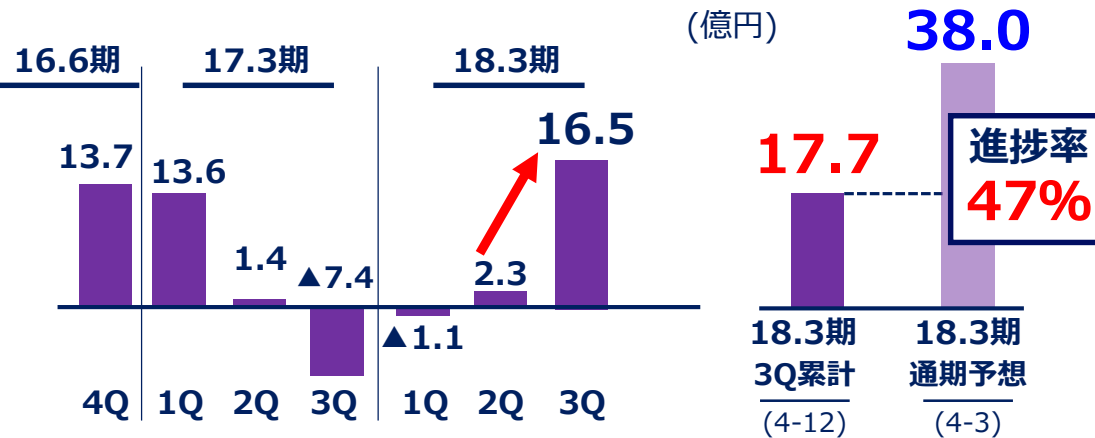
決済取扱高は前期2Q比22%増の約4,200億円とEコマース市場を大幅に上回る成長を継続

～ 重点分野の非EC領域は対面決済や仮想通貨取引所決済が急拡大 ～



国内外投資ポートフォリオを順次売却、税引前利益は前四半期2Qから大きく伸長 ～ CIOが就任、引き続き北米・アジアの投資事業を強化～

税引前利益



投資残高

	社数	投資残高
株式	136	121 億円
国内	45	18 億円
海外	91	102 億円
ファンド	11	8 億円
計	147	129 億円

注)
DGインキュベーションの投資残高
上場銘柄は期末時価による評価額
株式は転換権付融資含む
残高合計は単位未満切捨のため
一致しない場合があります

主要なポートフォリオ

Blockstream [米・加]



ブロックチェーンの多目的な応用を容易にするプラットフォーム技術「サイドチェーン」を開発

PR Table [日本]

PR Table
ストーリーテリング®プラットフォーム「PR Table (ピーアール テーブル)」を起点とした広報・PR担当者向けサービスを提供

Droom [インド]



インド最大手の自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom」を運営

グッドパッチ [日本]

Goodpatch
スマートフォン及びPC向けのホームページの受託開発やコンサルティングを手掛ける

Wevr [米国]

Wevr
バーチャルリアリティの制作者や利用者向けの革新的なオープンネットワークである「Wevr Transport™」を運営

モンスター・ラボ [日本]

monsterlab
世界15カ国約1万名のエンジニアに開発を依頼できるグローバルソーシングプラットフォーム「セカイラボ」を運営

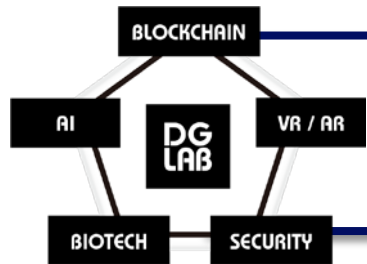
PureTech Health [米国]



最先端のバイオテクノロジー領域でインキュベーションを手掛ける米国企業。ロンドン証券取引所上場

パネル [日本]

Pandair
クラウドコンピューティングと人工知能を活用して完全自動化した電力小売プラットフォーム「Odin」(オーディン)を提供



5つの重要分野に焦点を当てた研究開発とファンドによる投資を両輪とし、次世代事業の柱となる技術開発が本格化。実証実験・業務提携など事業化に向けた動きが加速

BLOCK
CHAIN

資本業務提携先のBlockstream社、ニューヨーク証券取引所の親会社と仮想通貨関連データで提携

- デジタルガレージの資本業務提携先であり、DG Labがブロックチェーン関連の技術開発で連携するBlockstream社が、ニューヨーク証券取引所などを傘下に持つインターコンチネンタル取引所と仮想通貨データの提供に関して提携
- 今回の提携に基づきBlockstream社は、世界15以上の仮想通貨取引所から、ビットコインや他の主要仮想通貨の価格やオーダーブックなど広範な情報を収集し、インターコンチネンタル取引所にリアルタイムに提供



ICE

インターコンチネンタル取引所について :

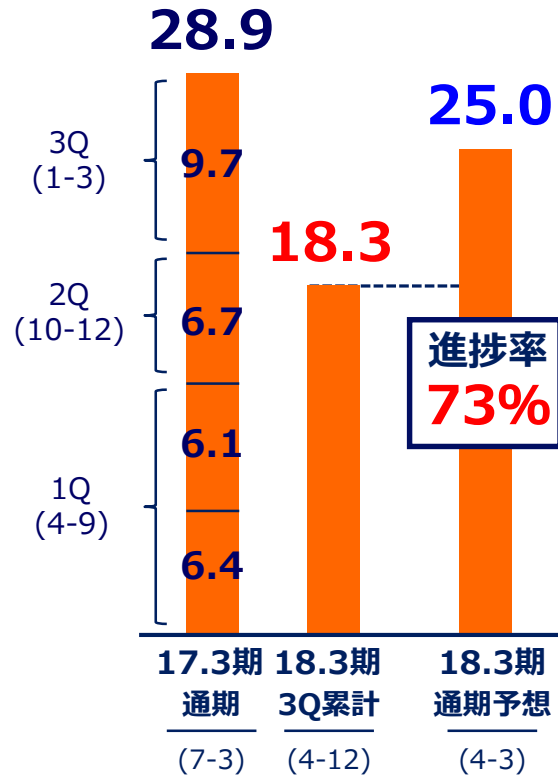
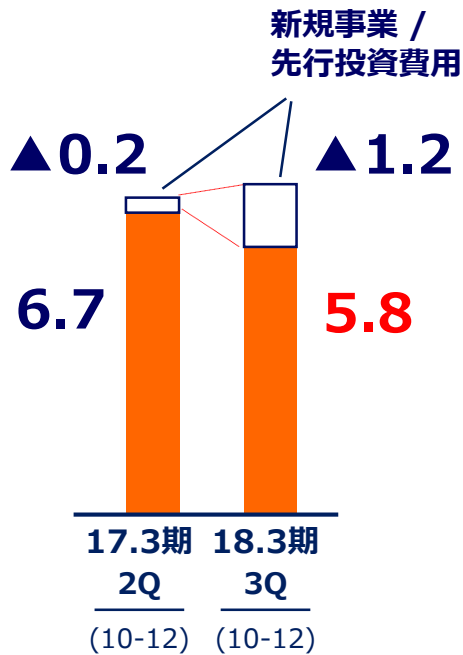
株価指数、外国為替をはじめ、エネルギー、貴金属、排出権、農産物等の現物やデリバティブなど、多様な金融商品を扱う電子取引所を運営。ニューヨーク証券取引所上場 (NYSE : ICE)

3Q税引前利益は5.8億円。新規事業の先行投資で前期2Q比減益も、カカクコム持分法投資利益は堅調に推移

～ 税引前利益進捗率は73%と順調に推移 ～

税引前利益

(億円)



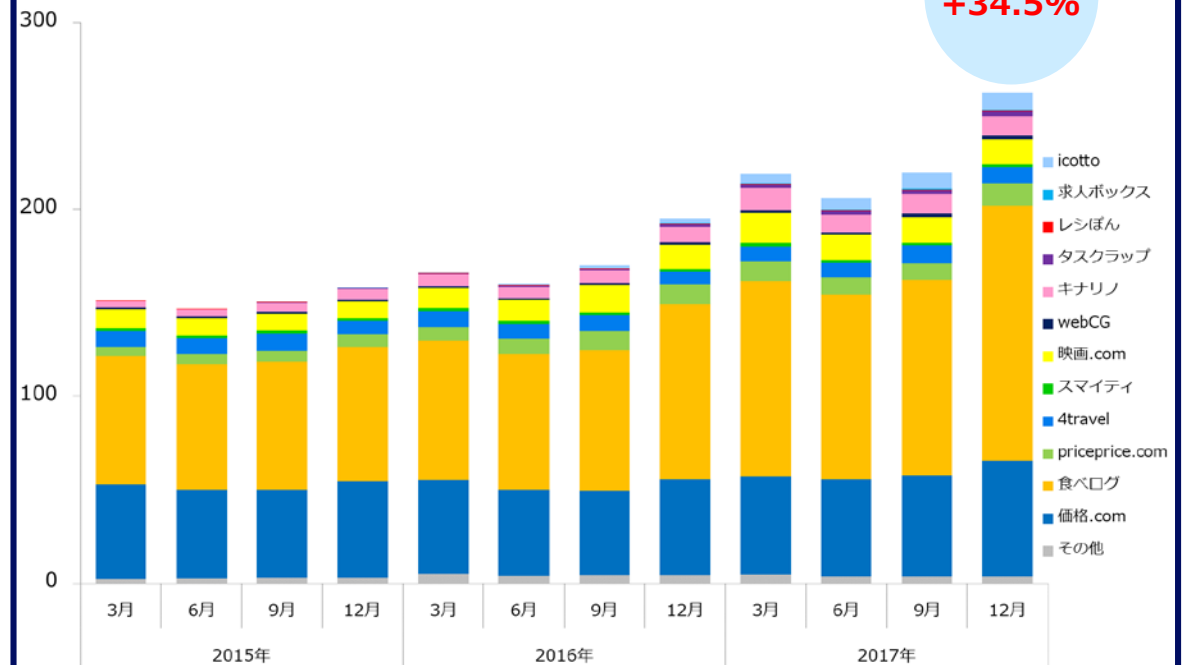
注) 17.3期1Qはカカクコム社の持分法投資利益を6ヶ月分(4-9月)計上しております。

カカクコムの主な事業進捗

【カカクコムグループ積上トラフィック】

グループ全体の月間利用者数は年々増加し、2億6,269万と前年同期比+34.5% (2017年12月)

(百万人)

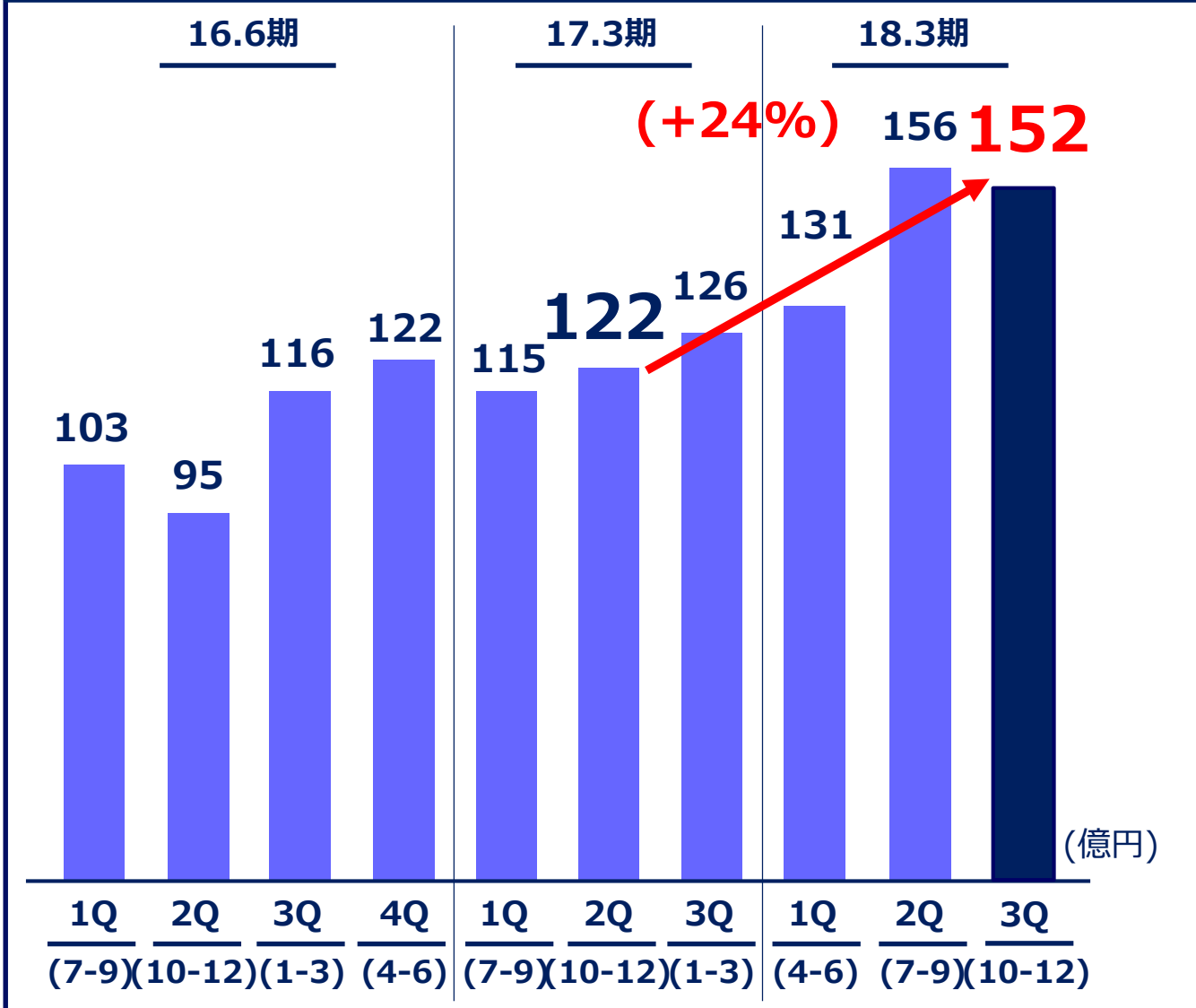


カカクコム社 2018年3月期第3四半期決算説明資料より抜粋

Appendix



連結売上高



参考情報として、18.3期3Q (10-12) を前年同四半期である17.3期2Q (10-12) と実質比較しております

- 3Q売上高は前期2Q比24%増の152億円
- MT/FTセグメントが高成長を持続、DGグループ全体の売上の伸びを牽引



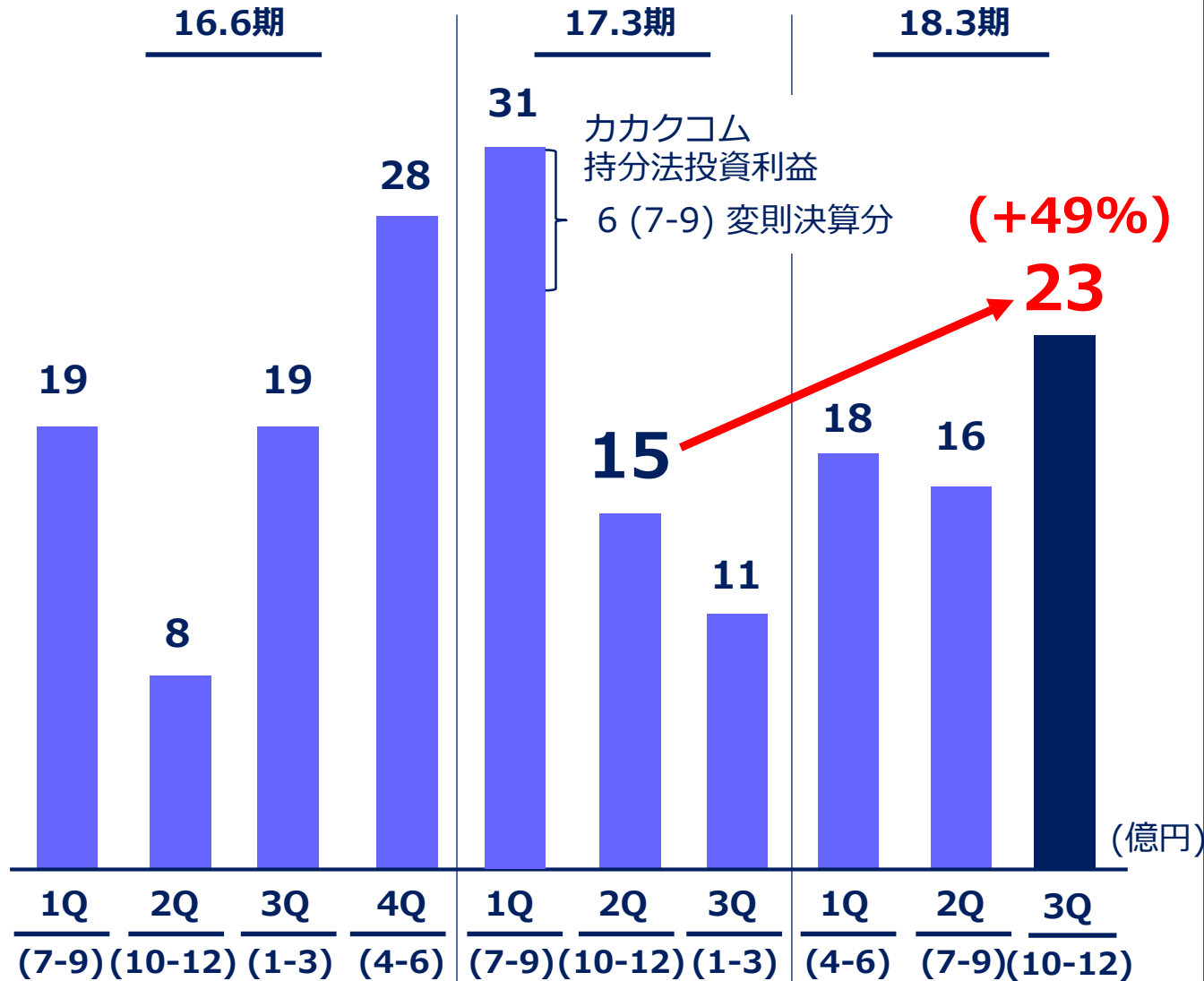
■ 3Q営業利益は前期2Q比57%増の7.7億円

■ FTの粗利拡大及びITの株式売却が営業増益に寄与

■ 3Q営業利益率は前期2Qの4.0%から5.1% (+1.1ポイント) と収益性が向上

⇒ 高い成長性と収益性向上の両立を実現

連結税引前利益



■ 3Q税引前利益は前期2Q比49%増の23億円

■ FT/ITが税引前利益の大幅増益に寄与



業績推移 (連結)

単位：百万円	2014.6期 (通期実績)	2015.6期 (通期実績)	2016.6期 (通期実績)	2017.3期 (通期実績) 9ヶ月	2018.3期 (通期予想)
売上高	33,751	38,087	43,763	36,451	58,500
営業利益	2,608	4,809	4,201	723	
営業外収益	2,307	3,736	3,031	3,246	
持分法投資利益	1,741	2,080	2,406	2,528	
為替差益	143	1,090	-	171	
営業外費用	472	936	1,040	292	
為替差損	-	-	689	-	
経常利益	4,442	7,610	6,193	3,678	
特別利益	630	2,463	1,392	2,265	
投資有価証券売却益	220	68	-	1,829	
関係会社株式売却益	-	-	521	386	
持分変動利益	374	2,363	157	47	
事業譲渡益	26	23	706	-	
特別損失	38	824	10	124	
減損損失	0	657	-	104	
税金等調整前当期純利益	5,035	9,248	7,574	5,819	8,000
法人税等	1,887	3,855	2,385	1,525	
親会社株主に帰属する当期純利益	2,847	5,081	5,165	4,289	5,500

注) 持分法適用会社のカクコム社は2018.3期より指定国際会計基準「IFRS」を適用しており、2017.3期の数値は遡及適用後で反映しております。

単位：百万円	2014.6期 (通期実績)	2015.6期 (通期実績)	2016.6期 (通期実績)	2017.3期 (通期実績) 9ヶ月	2018.3期 (通期予想)
売上高	33,751	38,087	43,763	36,451	58,500
MT マーケティングテクノロジー	14,822	16,064	21,028	20,494	32,000
FT フィナンシャルテクノロジー	13,454	14,568	16,392	14,140	20,500
IT インキュベーションテクノロジー	5,475	7,454	6,343	1,775	6,000
LTI* ロングタームインキュベーション	-	-	-	41	-
税金等調整前当期純利益	5,035	9,248	7,574	5,819	8,000
MT マーケティングテクノロジー	874	1,061	1,396	1,074	1,750
FT フィナンシャルテクノロジー	1,496	1,335	1,758	1,478	2,300
IT インキュベーションテクノロジー	1,595	2,804	3,105	766	3,800
LTI* ロングタームインキュベーション	1,776	4,477	3,052	2,899	2,500






注) セグメント税金等調整前当期純利益は、セグメント間取引消去及び全社費用等控除前

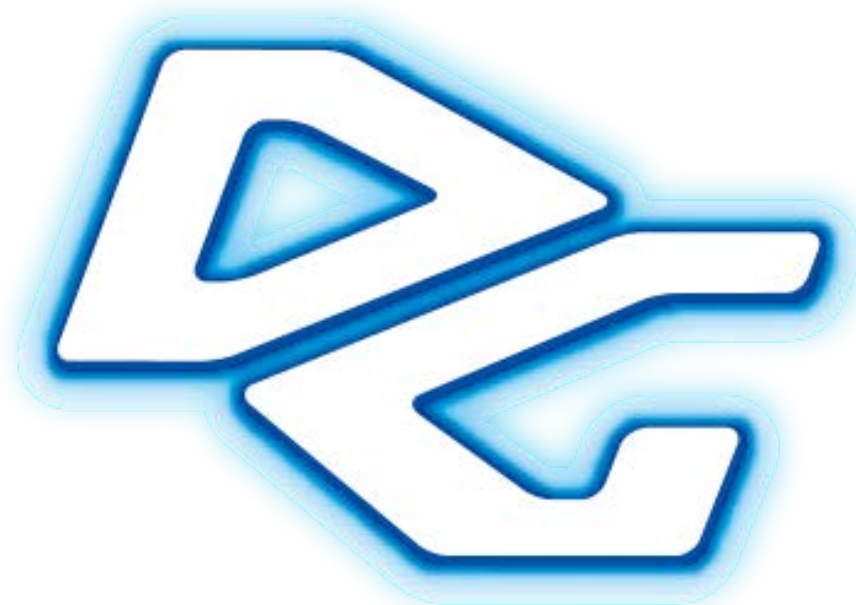
* 2018.3期より、中長期かつ継続的な事業利益の創出に取り組むことを目的として、従来のセグメントのうち、MIセグメントをLTIセグメントに変更しております。
従来ITセグメントに含まれていた一部の事業等をLTIに移管しており、2017.3期の数値は変更後の区分により表示しております。

リリース日		リリース内容
2018年2月6日		デジタルガレージとRepro、ゲームアプリ事業者向けにユーザーを優良顧客へ導くCRMコンサルティングサービスを提供開始
2018年2月1日		ベリトランス、クレジットカード情報の非保持化とICカード対応を実現する「オムニPAY」をH.I.Sグループ「変なホテル東京 銀座」に提供
2018年1月29日		ベリトランス、電話・FAX・はがき受注加盟店向けクレジットカード情報非保持化サービス「Pay TG」と2018年3月より連携開始
2018年1月22日		デジタルガレージの戦略業務提携先であるBlockstream社、インターコンチネンタル取引所と暗号通貨向け統合データフィードをローンチ (Blockstream社のプレスリリース)
2018年1月17日		ベリトランスとイーコンテキスト、2018年春頃にドコモのバーコード決済「d払い」に対応
2018年1月15日		デジタルガレージと全日空商事が協業し、国内企業や地方自治体のインバウンドマーケティングを支援
2018年1月15日		ベリトランス、総合決済ソリューション「VeriTrans4G」がGoogle Payに対応
2017年12月27日		デジタルガレージ、2018年東京開催「Scaling Bitcoin」のLSO (Local Support Organization) に選定
2017年12月15日		デジタルガレージグループのMidtrans社、インドネシア配車サービス最大手GO-JEKグループの傘下に
2017年12月12日		デジタルガレージグループ、慶應義塾大学 SFC 研究所主催の「第7回データビジネス創造コンテスト」に協力
2017年11月21日		デジタルガレージ、Blockstream社と戦略事業提携に関して正式契約を締結 ビットコインのブロックチェーンを活用する技術開発、第2ステージへ
2017年11月21日		デジタルガレージと東京短資、フィンテック分野における協業で提携 ブロックチェーン、AIを活用し新たな金融事業を創出へ
2017年11月20日		イーコンテキスト、大阪府における各種行政事務手数料のコンビニ収納業務を受託
2017年11月14日		デジタルガレージ、「Yahoo!マーケティングソリューション ゴールドパートナー」と「コンテンツマーケティングパートナー」の認定を取得
2017年11月13日		デジタルガレージ、先端技術で未来の都市を創るスマートシティ事業に着手 渋谷区の「一般社団法人渋谷未来デザイン」に協業パートナーとして参画へ
2017年10月30日		デジタルガレージ、北米、アジアの投資事業を強化 DGインキュベーションの投資責任者に有力投資家のBrian Yehが就任
2017年10月27日		デジタルガレージ、LINEの運用型広告配信プラットフォーム「LINE Ads Platform」の「Marketing Partner Program」において、「Sales Partner」の「Silver」に認定
2017年10月26日		ベリトランス、厚生労働省に国民年金保険料カード納付のためのカード決済サービスを提供開始

リリース日		リリース内容
2017年10月20日	 NaviPlus	ナビプラス、オットージャパンに顧客の声をマーケティングに活用する「商品レビュー分析サービス」を提供
2017年10月17日	 veritrans	ベリトランス、「IVR決済ソリューション」をスクロール360のEC一元管理システム「eシェルパモール」に提供
2017年10月10日	 DG Lab	DG Lab、ビットコインのブロックチェーン上で独自仮想通貨を発行できる汎用フレームワーク「DG Lab DVEP」TMを開発
2017年10月5日	 Open Network Lab	Open Network Lab、起業家支援プログラム「Seed Accelerator Program」第16期の募集を開始
2017年10月3日	 DGLAB FUND	DG Labファンド、福岡市スタートアップ支援1号案件としてAI/IoTを活用したクラウドサービスを展開するスカイディスクに出資
2017年10月2日	 Digital Garage	デジタルガレージとテンセント、モバイルQQにおける訪日中国人向け公式コンテンツ「QQお出かけ日本」を共同開発し提供開始
2017年9月29日	 DG Lab	DG Lab、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2017 SAN FRANCISCO」を開催
2017年9月25日	 veritrans	ベリトランス、カード情報の非保持化を実現する電話決済サービス「IVR決済ソリューション」の契約数が300件を突破
2017年9月21日	 Digital Garage	デジタルガレージ、福岡地域戦略推進協議会と提携し、福岡市におけるスタートアップ起業支援を開始
2017年9月19日	 Digital Garage	デジタルガレージ、企業の広報・PR活動を支援する株式会社PR Tableに出資
2017年9月8日	 DGLAB FUND	DG Labファンド、ブロックチェーン・AI・バイオテック等の分野で次世代技術を有するスタートアップ企業12社に投資
2017年9月7日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」にAIによる自動最適化機能を追加し提供開始
2017年8月31日	 Digital Garage	デジタルガレージが運営を支援するオープンイノベーションプログラム「TOYOTA NEXT」協業企業が決定
2017年8月29日	 Digital Garage	デジタルガレージ、世界を舞台に独創的な挑戦を続けるリーダーを応援する「デジタルガレージ ファーストペンギンアワード 2017」を開催
2017年8月18日	 Digital Garage	店頭の顧客獲得を狙うメーカーを支援、日本最大級のID-POSデータ連動型広告運用サービス「POS UP!-オンライン広告™」の提供を開始
2017年8月3日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusリタゲメール」に商品の価格や在庫情報の変動をタイムリーに通知する機能を追加
2017年8月1日	 econtext	イーコンテキスト、送金サービス「CASH POST」の現金受取先に「ドコモ口座」を追加
2017年7月25日	 Digital Garage	デジタルガレージ、次世代バイオスタートアップの育成事業に参入 米国でバイオインキュベーションを手がけるPure Tech社と業務提携

リリース日		リリース内容
2017年7月21日		DG Lab、「THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2017 TOKYO」の基調講演を「DG Lab Haus」を通じストリーミング配信
2017年7月20日		ベリトランスとハンズラボ、東急ハンズにクレジットカード情報の非保持化とICカードに対応したPOSシステムを提供開始
2017年7月18日		ナビプラス、DGコミュニケーションズが運営するマンション所有者向け住宅資産管理サービス「家いくら？」β版に機械学習技術を提供
2017年7月10日		ベリトランス、リンク決済サービスをリニューアルし、「VeriTrans4G POP」としてEC事業者向けに提供開始
2017年6月29日		デジタルガレージ、ユーザー行動に応じたLINE配信サービスを活用し、ゲームアプリ事業者のプレゼントキャンペーンを支援
2017年6月28日		デジタルガレージと講談社、雑誌の優良なコンテンツとAI技術を組み合わせたコンピレーションメディア「HOLICS」を開設
2017年6月20日		DG Lab、人工知能を活用したインタラクティブ・エージェント技術のオープンプラットフォームを構築
2017年6月14日		ナビプラス、「NaviPlusリタゲメール」のフォローメールに自動掲載できる商品レコメンドの種類を拡充
2017年6月9日		イーコンテキスト、新電力サービス「寄付電気for国境なき医師団」と「ネコ電気」へクレジットカード決済サービスを提供
2017年6月1日		DG Labとカディンチェ、ライブパフォーマンスを「4K360° VR」で生配信 臨場感あふれる新感覚の映像体験を提供
2017年6月1日		デジタルガレージ、AI関連のスタートアップ育成を手がけるAll Turtlesに出資、日本における事業展開を支援へ
2017年5月31日		THE NEW CONTEXT CONFERENCE 2017 TOKYOが7/25-26に開催 テーマは「バイオテクノロジー」と「ブロックチェーン」
2017年5月30日		ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」のABテスト機能を提供開始
2017年5月17日		デジタルガレージ、「クラウドサインペイメント」の提供を契機として、事業者間決済の電子化事業を本格展開へ
2017年5月16日		飛騨信用組合とアイリッジ、電子地域通貨の実証実験においてDG LabがBlockstream社と共同開発するブロックチェーンプラットフォーム技術を検証へ（アイリッジ社のプレスリリース）
2017年5月15日		日本初、契約締結と決済を同時に行えるクラウドサービス「クラウドサインペイメント」を提供開始
2017年5月15日		ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」に訪問者属性の分析機能を追加し、EC事業者への提供を開始

リリース日		リリース内容
2017年5月12日		デジタルガレージ、富裕層向けライフスタイル支援事業を本格始動 投資先とその子会社2社を経営統合しDG Life Designとして事業展開へ
2017年4月28日		ベリトランス、オプティムとMRTが運営する遠隔診療サービス「遠隔診療ポケットドクター」にクレジットカード決済サービスを提供
2017年4月5日		Blockstream社、機密性を保ちながらブロックチェーン上でデジタル資産の取引を可能にするConfidential Assets機能を開発、オープンソースのデモプログラムをDG Labが提供 (Blocksteam社のプレスリリース)
2017年4月5日		ベリトランスとイーコンテキスト、リクルートライフスタイル展開の『モバイル決済 for Airレジ』向けにビットコイン決済を提供
2017年4月3日		イーコンテキスト、クレジットカード情報の漏えいを防止するトークン決済の提供を開始



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。